



太良町立多良小学校 学校便り 第41号

ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和4年3月22日発行 文責 校長 副島 和久

素晴らしい卒業式でした！（感動）



学校HPもご覧ください

3月18日（金）、太良町立多良小学校の第130回卒業証書授与式を挙行いたしました。残念ながら、雨の卒業式となってしまいましたが、滞りなく卒業式を執り行うことができました。

新型コロナウイルス感染防止対策のために、換気、マスク着用、1,2年生のオンライン参加など、昨年同様にいろいろと制約のある中での式でしたが、素晴らしい式となりました。当日は、卒業生のみんなも、見送る在校生のみんなも、お互いに自分たちの精一杯の思いを込めることができたのではないかと思います。



卒業証書の授与



6年生による合唱「大切なもの」

今年度の卒業式には、太良町教育委員会を代表して、教育長 松尾 雅晴 様、来賓を代表して、太良町 副町長 毎原 哲也 様にご臨席いただき、お祝いの言葉をいただきました。

松尾教育長からは、『挨拶と感謝をしよう』というお話がありました。「いろいろな分野で秀でている人や充実した人生を送っている人は共通して、この2つができてい
る。きちんとした挨拶ができ、感謝の気持ちをいつももっている人は、相手を思いやる
ことができる人であり、その気持ちはこだまのように自分にも返ってくる。信頼できる
友達をたくさんつくってほしい。」ということを話されました。



毎原副町長からは、「人の役に立つ人間になってほしい」というお話がありました。二宮尊徳の教
えである「たらいの水」のお話をされました。「たらいの水を自分の方にかき寄せようとすると、両脇か
ら向こう側に流れていってしまうけれど、手前から向こうに水を押しやると、両脇か
ら自分の手元に入ってくる」ということから、「たらいに愛情という水を満たすように
してほしい。そして、気付いた人はその愛情の水を周りの人にも分け与えてほしい。そ
れはやがて自分にも返ってくる。つまり、人の役に立つ人間になって、人の役に立つ
ことをすることが、自分自身の幸せにもつながる」ということでした。



卒業生に向けての言葉ではありましたが、これらのお話は、多良小学校の皆さんにとって大切なメッセージであると思いました。ぜひ、心に留めておいてほしいと思います。

2年連続の6年生担任を務めてくれた田中圭先生、お疲れ様でした。そして、堂々と卒業していった6年生の皆さん。あなたたちのこれからの輝く未来を精一杯生き抜いてほしいと思います。ご卒業おめでとうございます。卒業生の前途に幸多かれ！！



卒業式の式辞から・・・



さて、卒業式の校長の式辞で、お話ししたこと(の一部)を紹介したいと思います。私が長年、愛読している「**銀河英雄伝説**」という小説のお話です。この小説は、私に「戦争と平和について」「民主主義国家と専制国家の意味」「友とは？」など、数多くのことを考えさせてくれる15巻から成る本です。

以下は、式辞の一部です。

卒業に当たって、卒業生の皆さんには、「**言葉を大切に使う**」ということをお願いしたいと思います。

十年ほど前に初めて出会って以来、何度も何度も読み返している「**銀河英雄伝説**」という小説があります。田中 芳樹(たなかよしき)という作家が書いた小説で、本伝10巻、外伝5巻の計15巻という大作です。1982年に発表されてから、すでに40年が立ちますが、今でも、アニメ、漫画、ゲームにもなるなど、根強い人気があります。未来の銀河系において、考え方の異なる2つの勢力の争いを描いた小説ですが、私自身はこの中に数多くの学ぶことがあります。

その中で、主人公の一人、ヤン・ウェンリーの次のような言葉があります。

言葉は 心という海に浮かんだ氷山のようなものだ。

**海面から浮かんでいる部分はわずかだが、それによって海面の下に存在する大きなものを
知覚したり感じ取ったりすることができる。**

言葉は大事に使いなさい。

そうすれば、ただ沈黙しているより、多くのことをより正確に伝えられる。

私たちは言葉を使って、物事を考えたり、思いや気持ち伝えたり、相手の思いを知ったりします。癒やされる言葉、勇気づけられる言葉、なぐさめられる言葉、傷つける言葉、嫌な気持ちにする言葉、それらの言葉の下には、その言葉を口にしたあなた自身の大きな心があるということを知っておいてほしいです。そして、だからこそ、「**言葉を大事に使ってほしい**」と思います。

今、ウクライナでは戦争が起きています。ロシアとウクライナとの歴史的なことは私にはよく分かりませんが、それでも、今、ロシアが行っていることは絶対に許されません。なぜ、言葉を尽くして話し合い、解決できなかったのかと思うと、残念でなりません。

皆さんは、これからも 言葉を大事に使い、誠心誠意、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりすることができる人になってほしいと思います。**言葉はあなたの心です。**

私たちが日頃、何気なく使っている言葉ですが、もう一度、その言葉について考えてみたいですね。